

生成 AI の活用と注意点を学ぶ

目標

1. 生成 AI の特徴と仕組みを理解する。
2. 探究活動における生成 AI の活用方法を考える。
3. AI 利用に伴うリスクや倫理的課題を理解し、適切な使い方を身につける。

○これまでの生活をふり返って AI が活用されている場面を書き出してみましょう。

生成 AI とは？

…大量のデータを学習し、人が作り出したかのような文章や画像などを生成する技術

1. これまでの AI（識別系 AI・予測系 AI・会話系 AI）vs 生成 AI

これまでの AI と生成 AI の違いを整理すると、以下のようになります。

特徴	これまでの AI	生成 AI
役割	整理・分類・予測	創造・生成・要約
得意なこと	「これは猫の写真か？」の判定	「猫が宇宙で踊っている絵」を描く
アウトプット	数値、ラベル、Yes/No	文章、画像、音楽、動画、プログラミングコード

2. なぜ「生成」できるのか？

生成 AI は、膨大なデータ（インターネット上の文章や画像など）を学習し、「次に来るものは何か？」という確率を計算しています。

- テキスト生成の場合：「昔々、あるところに……」という言葉の次に続く確率が高いのは「おじいさんと」である、といったパターンを学習し、自然な文章を紡ぎます。
- 画像生成の場合：「空」という言葉に対応する色や形のパターンを学習し、指定されたキーワードに合わせて画素を組み上げていきます。

3. 生成 AI の種類（代表例）

2026 年現在、私たちが日常的に触れている生成 AI には以下のようなものがあります。

- テキスト生成: Gemini, ChatGPT, Claude など
- 画像生成: Midjourney, Stable Diffusion, DALL-E など
- 動画生成: Veo, Sora など
- 音楽生成: Lyria, Suno など

生成 AI を使ってみよう

この授業では「Gemini」を学校で配付したアカウントで使ってください。

①「横須賀高校の校長について教えて」のように地元のマニアックな情報を質問してみましょう。

→間違えを見つけたら、そこを指摘してみましょう。

【結果】☐ 完璧（100%正しい） ☐ 概ね正しいが一部違う ☐ 全くのデタラメ

その他、気づきがあればメモしておきましょう。

②①の結果について信頼できる情報源（本・新聞・公式 HP など）で調べてみましょう。

AI が主張したキーワード	自分で調べた結果	根拠となる出典名

③AI にアドバイスを求めてみましょう。次の2つの指示で出力結果がどのように変わるか試してみてください。

（指示 1）「スマホを触りすぎてしまうんだけど。」

（指示 2）「あなたは高校の先生です。私はスマホを触りすぎてしまって困っています。アドバイスを 3 つください。」

【結果】どのような違いがあったか、自分の言葉でまとめてください。

プロンプト（指示文）が詳しいほど、求めている回答に近づきましたね。少なくとも AI が「どのような役割」か、「どのような処理をしてもらいたい」か記述しましょう。

④サンプルとして配付されたアンケートの回答データを添付して「分析して」と指示してみましょう。

また、仮説があればそれに従った指示を出してみることもありえます。例えば、「学習時間と AI 利用頻度に相関があるか」など。

※今回のサンプルデータは copilot で生成したダミーデータです。

生成 AI の活用方法と注意点について

Principia や普段の学習活動でどのように活用できるか、考えをまとめましょう。

	活用できそうな場面	注意すべき点
自分の考え		
グループで共有 ※自分では思いつかなかったことについて記入		
クラスで共有 ※グループでは思いつかなかったことについて記入		

ここまで体験してもらった通り、生成 AI で出来ることは非常に多岐にわたります。特別なスキルを持たない人でもプロ顔負けの作品（のようなもの）を作ることができるようになってきました。一方で、目の前の情報が事実なのか、創作物なのかを見極める力がとても大切になってきたのも事実です。

次の写真は令和8年3月の卒業式当日に横須賀高校敷地内で撮影した写真です。ただし、AI で加工した、いわゆるディープフェイクです。どこがそれにあたるかわかりますか???(😁マークは個人の特定を避ける目的で、撮影者が被せました。)



生成 AI 活用にあたっての注意点

- 誤情報を含むことがある。もっともらしい嘘（ハルシネーション）に注意！
 - 著作権に注意。また、出力結果をそのまま使うことは盗用にあたる。
 - プライバシーに関わること（氏名や住所、友達の悩みなど）は入力しないこと！勝手に学習されることがある。
- ※ ほとんどの生成 AI は 18 歳未満の利用について保護者の同意が必要になっています。学校の教育活動で使用する場合については、入学時に同意書を提出してもらっているので問題ありませんが、個人的な使用については規約をよく確認するようにしてください。